

2020年度 情報通信技術賞(総務大臣表彰、 TTC会長表彰)、功労賞、感謝状受賞者の決定

【情報通信月間参加行事】

2020年6月16日(火)、2020年度、総務大臣表彰1名・1団体、TTC会長表彰6名、功労賞15名、感謝状1名・2団体の個人・団体を表彰いたしました。

なお、「2020年度一般社団法人情報通信技術委員会 表彰式及び受賞者を囲む会」は、新型コロナウイルス感染症の状況に鑑み、受賞者の皆様ならびにご列席者の皆様の安全確保を最優先に考慮し、中止しました。

このたびの受賞者および受賞団体の皆様につきましては、授与品の発送をもって表彰にかえさせていただきました。

栄えある表彰を受けられた方々

1 情報通信技術賞 総務大臣表彰

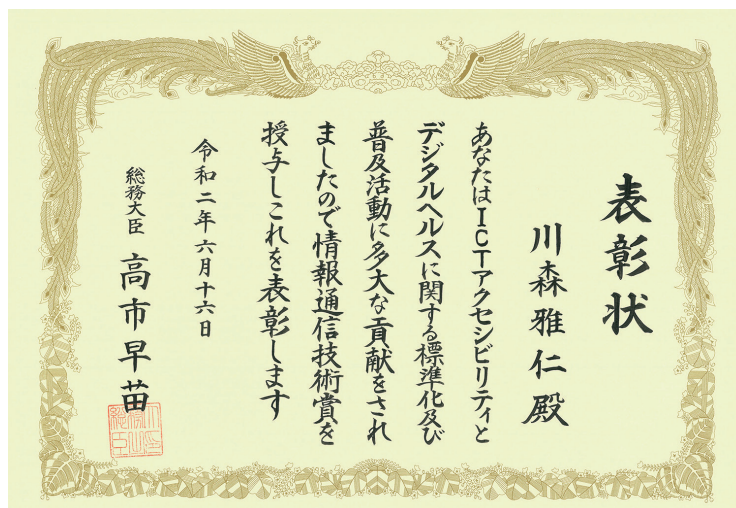
(1) 「ICTアクセシビリティとデジタルヘルスに関する標準化及び普及活動への貢献」

川森 雅仁 殿 慶應義塾大学(元 日本電信電話株式会社)

ITUにおいてIPTVに係る標準化の立ち上げを進めるとともに、IPTV-GSI議長及びラポータとしてその勧告化を行った。あわせて、IPTVのアクセシビリティ応用を進め、モンゴル、エクアドル等の国内標準化も推進した。

また、アクセシビリティと電子健康医療分野でのラポータとして、ICTアクセシビリティとデジタルヘルスの標準化を牽引した。特にWHOと共同策定したSafe-listeningに関する勧告はアップルのiPhoneを始め世界中で実装され社会的に大きく貢献した。

日本から提案した脳情報プラットフォーム標準は、世界初の脳情報に関する標準であり、そこで規定された脳の健康管理指標(BHQ:Brain Healthcare Quotient)は、海外及び国内の病院、研究機関、企業などに採用されている。さらに日本発の8K高精細映像利用内視鏡標準の勧告化を推進した。また、アクセシビリティの分野では、視覚障害



者向けナビゲーションを勧告化し、ITUと共に米国 ANSI/CTA 標準とした。

また、ITUの電話リレーサービス勧告をTTCにおいて新規標準化し、我が国の電話リレーサービスの公的インフラ化の推進にも貢献した。

(2)「ウェブブラウザの縦書レイアウトに関する国際標準化及び普及活動への貢献」

団体名 次世代 Web ブラウザのテキストレイアウトに関する検討会 殿

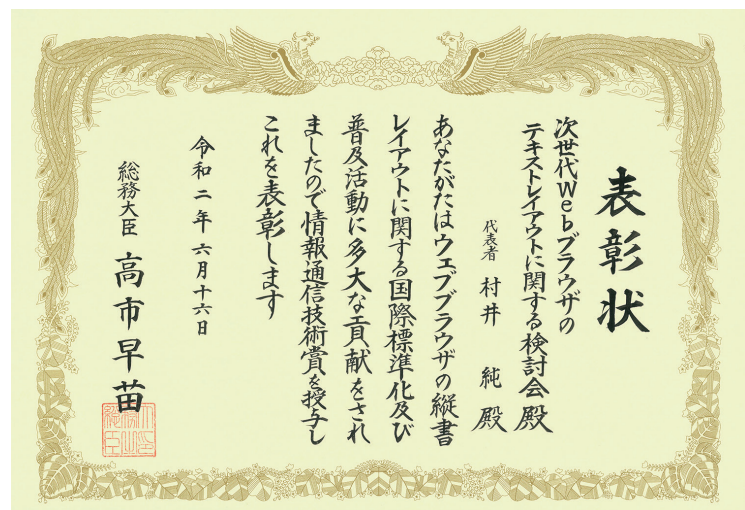
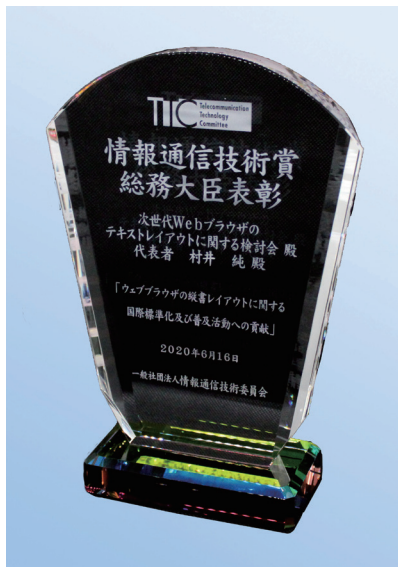
(代表者 村井 純 殿)

英語が標準設定であるウェブブラウザ上で日本語が使用されるようになってからも、日本を含む縦書き文化圏で古来からの文化として根付いている縦書きの文字組は、1990年代までは技術的に不可能であった。

本検討会は、自国文化の継承とデザインの多様化を目的として「縦書き Web」の活動を始動し、W3Cにおいて、15年の歳月をかけて2019年末に当ウェブ技術を国際標準勧告化とした。

本技術は、日本語やモンゴル語などで使われるような縦書きの記述、横書きの左から右への記述、横書きの右から左への記述、そして横書きのページに縦書きの領域を挿入する記述など、世界中で利用されている様々な記述方向を実現している。これにより、同一ウェブページ上で横書き及び縦書きの記述を混在させることも可能になり、日本語固有の文化を実現しながら、世界に対してウェブの設計にさらなる自由と高い表現性の提供が可能となった。

本件の勧告化に至るまでには、多数の議論や開発、複数国に渡る数多くの有識者やコミュニティ、ステークホルダー間の困難な調整といった国際連携の活動が要求され、それらを経て勧告化を実現したことは、日本発信の国際標準化活動の一つとして卓越した功績である。



2 情報通信技術賞 TTC会長表彰

- (1) 「放送・通信での4K・8Kメディア伝送技術に関する研究開発及び標準化にかかわる功績」
日本放送協会 青木 秀一 殿
- (2) 「アジア太平洋地域における光ファイバー無線(RoF)技術の標準化の推進にかかわる功績」
国立研究開発法人情報通信研究機構 小川 博世 殿
- (3) 「サイバーセキュリティ及び分散台帳技術の標準化活動にかかわる功績」
奈良先端科学技術大学院大学 門林 雄基 殿
- (4) 「移動通信システムにおけるオペレーションシステムの高度化及びコア網仮想化の標準化にかかわる功績」
株式会社 NTT ドコモ 榮 浩三 殿
- (5) 「ETSI における Body Area Network の標準化活動にかかわる功績」
広島市立大学 (元 株式会社東芝) 田中 宏和 殿
- (6) 「IP 相互接続に関する標準化の推進にかかわる功績」
KDDI 株式会社 蓑田 学 殿

3 功 労 賞

- (1) 「伝送網の時刻・周波数同期に関する標準化活動にかかわる功績」
日本電信電話株式会社 新井 薫 殿
- (2) 「SIP ドメイン解決 DNS の相互接続仕様の策定及び TTC と連動した 3GPP 標準化にかかわる功績」
日本電信電話株式会社 永徳 はるか 殿
- (3) 「電気通信番号に関する標準化の推進にかかわる功績」
日本電信電話株式会社 大久保 知明 殿
- (4) 「oneM2M 国際標準仕様策定及び同技術の普及促進にかかわる功績」
KDDI 株式会社 奥井 宣広 殿
- (5) 「光ファイバシステムに関する標準化の推進にかかわる功績」
富士通株式会社 國松 和宏 殿
- (6) 「コネクテッド・カーに関する標準化活動にかかわる功績」
元 富士通株式会社 小谷 誠剛 殿
- (7) 「OTN インタフェースに関する標準化活動にかかわる功績」
元 日本電信電話株式会社 小林 正啓 殿

- (8) 「光アクセス仮想化における ITU-T SG13/SG15 標準化活動にかかわる功績」
沖電気工業株式会社 齊藤 洋之 殿
- (9) 「光ファイバ及びケーブルの諸特性に関する標準化活動にかかわる功績」
日本電信電話株式会社 坂本 泰志 殿
- (10) 「技術調査アドバイザリグループにおけるフォーラム活動調査にかかわる功績」
日本電気株式会社 神保 光子 殿
- (11) 「伝送網の装置機能及び保護・復旧に関する標準化の推進にかかわる功績」
日本電信電話株式会社 関 剛志 殿
- (12) 「通信ネットワーク運用管理に関する標準化活動にかかわる功績」
日本電信電話株式会社 田原 光穂 殿
- (13) 「ICT と気候変動に関するアップストリーム活動にかかわる功績」
日本電信電話株式会社 張 曉曦 殿
- (14) 「光アクセス網システムに関する標準化の推進にかかわる功績」
三菱電機株式会社 牧野 真也 殿
- (15) 「ITU-T SG20 及び FG-DPM の標準化動向調査並びに情報共有にかかわる功績」
株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所 渡邊 敏康 殿

4 感謝状

- (1) 「国連欧州経済委員会自動車基準調和世界フォーラム (WP29) での自動運転及び関連する技術について
基準案の策定にかかわる功績」
独立行政法人自動車技術総合機構 新国 哲也 殿
- (2) 「消防指令システムの共通インターフェースの標準化にかかわる功績」
団体名 企業ネットワーク専門委員会 消防指令システムサブワーキンググループ 殿
(代表者 藤井 威生 殿)
沖電気工業株式会社 青木 雄一 殿
電気通信大学 石橋 功至 殿
電気通信大学 藤井 威生 殿
日本電気株式会社 前田 鏡二 殿
株式会社日立製作所 松本 耕太郎 殿
富士通株式会社 丸山 隆之 殿
株式会社富士通ゼネラル 井部 丈士 殿
- (3) 「TTC との連携による日本企業への IoT 技術の普及推進にかかわる功績」
団体名 一般社団法人日本 OMG 殿
(代表者 吉野 晃生 殿)